

<2>

- ①50周年記念大会開催校は名古屋大学と決定し、記念大会を2000年10月に設定する。
- ②記念大会第1日に記念式典・記念講演・記念祝賀会等記念行事を行ない、第2日は通常の大会とする。記念式典・記念講演の具体的実施内容は、50周年委において立案し、実施するものとする。
- ③「日本中国語学会奨励賞」の創設：毎年1回《中国語学》掲載論文から、1編を選考し、賞状及び賞金10万円を授与する。受賞者の年齢制限等資格については内規を設ける。選考手順は、編集委員会が前年度刊行の《中国語学》から、複数の候補論文を選定し、その中より常任理事会が受賞論文を決定する。第1回奨励賞は50周年記念大会に合わせ、《中国語学》246号掲載論文の中より選定する。
- ④《中国語学会創立50周年記念号》の刊行：《中国語学》247号をこれに当て特別編集を行なう。去る6月10日理事の推薦投票によって決定された4編の特別依頼論文、及び《中国語学》150号以降の総索引を掲載する。索引の編纂は、古屋昭弘理事(早大)の下で行なうこととする。
- ⑤記念募金：去る6月より記念募金を開始し、12月1日現在、総額1,225,000円の寄付金が寄せられた(別紙寄付者氏名一覧を参照)。
- ⑥記念行事特別会計予算：寄付金120万円(+ α)および一般会計より110万円(審議事項)、合計230万円を当面の予算規模とする。

5. 審議事項(2)

- ①1998年度会計決算報告の件、1999年度会計補正予算案の件、2000年度会計予算案の件：各件とも理事長より説明され、いずれも原案通り承認された(後掲資料)。
- ②編集委員会関連内規及びその他内規一部改正の件：理事長より趣旨説明の後、原案通り承認された(後掲の改正内容を参照)。
- ③常任理事会・理事会の議決に基づき、名誉会員に、荒屋勤氏(大東文化大)、服部昌之氏(熊本学園大)、松本昭氏(フェリス女子学院大)、岩崎富久男氏(明治大)が推挙され承認された。

6. 次期役員選挙開票結果報告

依藤選挙管理委員会委員長より、10月30日実施された次期役員選挙の開票結果が、以下のように報告された。

投票総数：147票 内、有効票：146票、無効票：1票

得票数：相原 茂 69、平井勝利 53、木村英樹 47、佐藤晴彦 47、杉村博文 46、
中川正之 44、輿水 優 41、讃井唯允 38、榎本英雄 35、岩田 礼 30、
依藤 醇 30 (以下省略)

これにより、改定会則第7条及び同関連内規に基づき、次期(2000・01年度)理事長及び常任理事は、以下の通り決した。

理事長：相原 茂 常任理事：木村英樹、輿水 優、佐藤晴彦、讃井唯允
杉村博文、中川正之、平井勝利

◆◇50周年記念大会は名大で10月28・29日◇◆

学会創立50周年記念大会(2000年度全国大会)は、2000年10月28・29日の両日、名古屋大学において開催されることが決定しました。詳細は次年度に入りご案内いたしますが、記念式典・講演会・祝賀会など記念行事は、10月28日名古屋国際会議場において盛大に催されます。会員各位には、記念大会の成功をを期し奮ってご参加くださるようお願いいたします。

《中国語学》247号投稿募集

《中国語学》247号(2000年度刊)への論文投稿の期間は以下の通りです。
2000年2月21日～同3月10日(当日消印有効)
投稿期間及び執筆要領・投稿規定(《中国語学》246号234～235ページを参照)を順守し、併せて保存方式を明記したフロッピーディスクを添えて、下記宛先へ郵送してください。規定に違反する投稿は受理いたしませんのでご注意ください。
宛先：日本中国語学会編集委員会 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
明治学院大学一般教育部共同研究室内

【会則改正】1999年10月30日総会において、本会会則及び同内規が以下の通り改正されました。
・第7条 理事長及び常任理事は総会において選出する。選出の方法は別に定める。理事、会計監査、幹事、並びに委員は常任理事会の承認を得て理事長が委嘱する。顧問に関する規定は別に定める。

・理事長及び常任理事選出方法に関する内規(→第7条関連)

理事長及び常任理事の選出は、年次大会出席会員(賛助会員を除く)の投票によるものとする。投票は8名連記により行なう。得票数上位8名を候補者とし、その内最高得票者を理事長、その他の7名を常任理事の当選者とする。いずれも得票が同数の場合は、年長者を当選とする。ただし、理事長当選者が、候補者の過半数がこれを是とする事由により、理事長就任に支障ある場合は、候補者8名の互選により、理事長を選出するものとする。選挙は役員改選時の大会当日に行ない、理事会の承認を得て理事長が委嘱した選挙管理委員会が管理運営するものとする。

・常任理事会及び理事会に関する内規(→第6条関連)

常任理事会は随時、理事会は総会開催時に、理事長が招集し開催する。常任理事会は、会務を統括し理事会への起案を掌る。理事会は、会務並びに総会への起案を掌る。

・《中国語学》編集委員・査読委員選出委嘱に関する内規(→第6条7項関連)

編集委員の改選は、編集委員会及び常任理事会の合同会議において行ない、会員の中より5名を選出し理事長が委嘱する。編集委員長は、編集委員による互選とする。編集委員長及び委員の任期は年次大会終了以後翌々年度大会終了までの2年とし、重任することができる。査読委員は編集委員及び査読委員を兼務することができる。編集委員会は《中国語学》編集に関する会務を掌るか、編集にかかわる実務を事務局に委託することができる。

☆1999年度『会員名簿』につき、以下お詫びして、追加・訂正をお願いいたします。

- ・木野井美紗子 169-0075 新宿区高田馬場2-9-5-401 (03) 3232-3400 都立大(院)
- ・小早川真理子 230-0021 横浜市鶴見区市場上町2-6 (045) 521-4994 成徳短大(非)
- ・徐曼 350-0277 坂戸市東和田172-15 (0492) 89-6838 文教大(非)
- ・席時宜 020-0822 盛岡市茶畑2-23-7 (019) 651-9323 岩手大学
- ・水原寿里 170-0004 豊島区北大塚2-8-12-305 (03) 3576-1114 文化女子大
- ・玄幸子 950-2044 新潟市坂井砂山2-2-56石川マンション406 (0908) 82-54796 新潟大
- ・呉悦 171-0044 豊島区千早4-21-13 (03) 3554-3345 wuyue@rikkyo.ac.jp 立教大
- ・劉虹 525-0055 草津市野路町759-1-104 (077) 561-8738 ryu@world.ryukoku.ac.jp
- ・立石廣男：日本大学 ・藤田益子：新潟大学

◇国際中国語学学会◇ <<http://www.socsci.uci.edu/ling/iacl.html>>

本学会が2002年愛知県立大学での大会開催を後援する「国際中国語学学会」のHPが開設されています。活動内容、入会申込等の情報が得られます。アクセスをどうぞ。

◆◆1999年度会費納入についてのお願い◆◆

1999年度会費の納入状況は、12月10日現在707名で、約300名の会員が会費未納です。未納の会員には振替用紙を同封しましたので、至急会費を納入してください。

郵便振替：00180-1-34315 日本中国語学会（2000年3月末日まで）

日本中国語学会1998年度会計決算（1998年4月～1999年3月）			1999年10月30日総会		
<収入>	予 算	決 算	<支出>	予 算	決 算
前年度繰越金	6,551,761	6,551,761	会誌印刷費	2,700,000	2,799,605
預金利息累計	787,716	787,716	大会助成費	500,000	500,472
会費収入	3,500,000	4,205,580	支部活動助成費	210,000	184,550
中国語学売上金	100,000	342,000	通信費	400,000	248,515
印税	100,000	100,000	事務費	350,000	244,641
定期預金利息	120,000	153,568	旅費交通費	270,000	313,320
合 計	11,159,477	12,140,625	予備費	6,729,477	7,849,522
			次年度繰越金		(7,849,522)
			合 計	11,159,477	12,140,625

日本中国語学会1999年度会計補正予算（1999年4月～2000年3月）		1999年10月30日総会	
<収入>		<支出>	
前年度繰越金	7,849,522	会誌印刷費	3,100,000
(定期預金累計利息941,284円を含む)		会員名簿印刷費	380,000
通常会員会費収入	4,000,000	大会助成費	650,000
賛助会員会費収入	510,000	支部活動助成費	230,000
『中国語学』売上金	300,000	通信費	400,000
印税	65,000	事務費	350,000
預金等利息(99/4～00/3)	150,000	旅費交通費	300,000
計	12,874,522	会議費等雑費	100,000
		予備費	7,364,522
		計	12,874,522

日本中国語学会2000年度会計予算（2000年4月～2001年3月）		1999年10月30日総会	
<収入>		<支出>	
前年度繰越金	7,364,522	会誌印刷費	3,500,000
(定期預金累計利息約1,090,000円を含む)		大会助成費	650,000
会費収入	4,000,000	支部活動助成費	230,000
賛助会費収入	510,000	通信費	400,000
『中国語学』売上金	300,000	事務費	400,000
預金等利息(00/4～01/3)	150,000	旅費交通費	300,000
計	12,324,522	会議費等雑費	100,000
		50周年記念特別予算	1,100,000
		予備費	5,644,522
		計	12,324,522

◎ご注意◎ 2000年4月1日より、本部事務局は「お茶の水女子大学」（東京都文京区大塚2-1-1）に移転いたしますので、ご注意ください。

発行：日本中国語学会 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
 明治学院大学一般教育部共同研究室内